

40番観自在寺。荷物を置いて上っていった人がいる。
ここから伊予の国



41 龍光寺



42番仏木寺、こんな鐘楼は、もう何処にもなかった。納経所で若い住職と「葺き替え大変ですね」「困っています」この屋根ぐらいのボリュームなら、ネットで募集してみたらどうです」「考えてみます」という会話



43番へ行く途中



43番明石寺



遍路にスタートするとき、橋の上では 杖をついてはならんといわれた

弘法大師御野宿所 とよがはし えいとくじ 十夜ヶ橋 永徳寺

今から千二百有余年前、弘法大師が四国しゅんせき巡錫中、この辺りにさしかかった時、日が暮れてしまい泊まるどころもなく、空腹のまま小川に架けた土橋の下で野宿をされました。わずか一夜のことではありましたが、夜明けまでは、それこそ十夜の長さにも感じられる思いで過され、「行きなやむ 浮世の人を渡さずば一夜も十夜の橋と思ほゆ」と詠まれました。

これから、十夜ヶ橋と名がついたといわれ、また お遍路さんが橋の上を通る時、杖をつかないという風習もこの話から起ったと伝えられています。



十夜ヶ橋

